

ラグビー明早戦の応援観戦報告

12月1日(日)関東大学ラグビー対抗戦Aグループ、記念すべき第100回「明治大学-早稲田大学」戦は、小春日和ともいえる中、国立競技場で行われました。

校歌の大合唱で幕を開けた伝統の一戦には、全体入場者数は40,544人で、多摩支部からは、昨年を上回る16地域支部140名が観戦し、バックスタンド1階左よりに陣取って、逆転優勝を祈念し大声援を送りました。

試合内容は、開始早々に早稲田にトライを許したものの、帝京戦での反省を踏まえ、鉄壁なラインディフェンスを敷き、立ち上がりから明治らしさを全開して、「前へ」の精神を基に紫紺のジャージーのFW陣が一体となって押し込み、ラインアウトからモールを組んで2トライを上げました。前半戦は、残念ながら終盤に逆転ゴールを許し、ゴールキックの差によって12-10で終了しました。

ハーフタイムでは、両チームのチアリーダーによる演舞が華やかに行われ、後半に入ってから、明大が縦攻撃を中心に先制点を取りリードしましたが、23分過ぎに木戸主将とフロントロー1名が交代してからは、スクラムの劣勢が明確となり、早稲田のキックをうまく使った攻撃にも晒され、逆転されました。しかし、終盤には最後の力を振り絞って明大が追い上げ、終了間際にはFWを中心にラックサイドを攻め、連続10回を超える波状攻撃を行いました。早稲田は、粘り強いディフェンスで守り切り、最終的には27-24でノーサイドとなりました。結果的に対抗戦Aグループでは、筑波大学に大勝した帝京大に次ぐ3位となりました。

次の決戦は、12/14の全国大学ラグビーフットボール選手権大会3回戦(対東海大学)となります。本日の試合は、明治の良い面と悪い面の両方が出てしまいましたが、ペナルティの少ない良い試合をしていましたので、残された期間で早稲田、帝京にリベンジすべく、弱点を強化して『栄冠』を勝ち取れるように頑張ってもらいたいと思います。引き続き応援を宜しくお願い致します。

<明早戦観戦状況>

(ラックの攻防)



(ラインアウトの攻防)



(スクラムの攻防)



(チアリーダーの応援)





(多摩支部の応援団)



(試合終了後の反省会)

<第61回全国大学ラグビーフットボール選手権大会>

